

社会・労働関係サイト探検(7)

OISR-Watch1999年8月26日号

二村一夫

今回は、お詫びと訂正の連続というより「お詫びと訂正特集」です。なんともお恥ずかしい次第で、穴があつたら入りたいとはこのことです。

訂正の第1は、前回、東京大学社会科学研究所

<http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/>

について紹介したなかで、不正確な記述があつたことです。オンライン版ではすでに訂正しましたので、あるいはご承知の方もいらっしゃることでしょう。問題は、前号でつぎのように書いた点です。

もうひとつ、東大社研のサイトで注目されるのは、社研の付属施設として設けられた日本社会研究情報センターが運営している《SSJデータアーカイブ》と《朝日新聞の切り抜きデータベース》がある。これらのデータベースは、原則は利用者IDの取得が必要であるが、現在はguestとして誰でも利用することが可能である。具体的な内容は、直接アクセスしていただくことにしたい。

この利用者IDの問題は、朝日新聞記事データベースについては上記の通りですが、《SSJデータアーカイブ》は利用者IDは不要で、誰でも利用可能でした。この間違いは、東京大学社会科学研究所・日本社会研究情報センターの佐藤博樹さんからのご指摘で気づきました。また、佐藤さんはこの《SSJデータアーカイブ》について、「統計情報の検索にも利用価値はありますが、本来のねらいは磁気化された個票のデータアーカイブ構築と個票データの学術研究への提供です。ちなみに、現在、約230データセットを提供しています。」とコメントしてくださいました。

訂正だけでは、申しわけないので、新しい情報もお届けしましょう。それは、日本労働研究機構のホームページ

<http://www.jil.go.jp/index.htm>

で、今月上旬から、「労働記事データベース」の利用ができるようになりました。これまでもニフティサーバのLINCでは公開されていたのですが、ニフティの会員でないと利用できないという問題がありました。インターネット上で誰でも使えるようになりました。この「労働記事データベース」は、政労使3者の代表的な情報紙である、つぎの3紙の記事を検索することが出来ます。『週刊労働ニュース』の1972(昭和47)年1月発行分以降)、『日経連タイムス』1994(平成6)年6月発行分以降)、『WEEKLYれんごう』1994(平成6)年6月発行分)。

さて、第2の正誤訂正は、第4号、本連載の番号では(3)で、コーネル大学労使関係図書館を紹介した最後に

また1997年からは、Human Resource Executive magazine と共同で求人 求職サイトともいうべきworkindex.comをWWW上に開設した。

と書いたことについてです。この前半、つまり「コーネル大学労使関係図書館Human Resource Executive magazine と共同でworkindex.comを設立した」とした点は正しいのですが、これを「求人求職サイト」と定義したのは全くの間違いでした。workindex.com発足時のうたい文句を誤解(誤読?)し、その間違った印象のまま最新の状況を確かめずに書いたためのミスでした。正しくは、「人事労務関連のYahoo」ともいうべきサイトでした。つまり、人事・労務に関連する主要サイトを登録し、これ

をカテゴリー別に見ることができるようにしているのです。もちろんキーワードで検索も可能です。

なお、このworkindex.comのURLはつぎのとおりです。

<http://www.workindex.com/>

さて、このサイトが主たる利用者に想定しているのは、企業の人事担当役員(それに求職者)で、分類区分にもそれは反映しています。分類の第一段階はつぎのようなカテゴリーから成り立っています。

Career Management and Outplacement

Compensation

Economic, Public Policy and Statistics

HR Consulting

HR Software and Technology

Health Benefits and Insurance

Human Resource Management

Labor Relations

Labor Unions and Employee Organizations

Laws, Legislation and Litigation

Management Science

Organizational Behavior

Recognition and Incentives

Recruitment

Relocation Services

Retirement Benefits and Services

Safety and Health

Special Benefits and Services

Staffing and Temporary Services

Testing, Appraisal and Evaluation

Training, Development and Education

各カテゴリーはさらにサブカテゴリーに分類されている。たとえば Labor Relations の下にあるサブカテゴリーは つぎの通りです。

Alternate Dispute Resolution

Current Contract

Evolution of Workers' Movements

General

Issues

Labor Force and Labor Market

Labor and Industrial History

Labor force statistics

Labor/Management Relations

Negotiation Process and Dispute Settlement

Strikes over grievances

サブカテゴリーをクリックすると簡単な説明付きで登録サイトがリストアップされており、さらに各サイトには1000語前後、なかには2000語にもおよぶ詳細な説明があります。ここは、本来は企業の人

事担当者など実務家をターゲットにしたサイトですが、もちろん研究者にとっても大いに役立つと思います。

このサイトは毎月10冊の本と10のサイトを EDITORS' CHOICE、つまり編者のお勧めとして掲載しています。今月のお勧めの中から、ひとつだけ紹介しておきましょう。

それは CEO EXPRESS と称するサイトです。その名のとおり、経営者向けのリンク集ですが、なかなかの充実度です。

<http://www.ceoexpress.com/>

(にむら かずお・名誉研究員)

[Last Modified:2000.2.26]

Cannot Open Index File "/home/.sites/28/site1/web/cgi-bin/npc.cgi/counter/count.idx" since 1999.9.10

[OISR-Watch Columns\(Table of Contents\)](#) [次のページへ](#)

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
